

V O L U M E

16

DK VOICE Vol.16

第47期第2四半期 株主通信

2019年4月1日 → 2019年9月30日

DK ダイコク電機株式会社

証券コード 6430

目次

01

ご挨拶・業績概要

02

業績ハイライト

03

事業概要・セグメント情報

05

トピックス

06

会社及び株式の状況

裏表紙

株主優待制度のご案内



経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、米国の保護主義的な政策による貿易摩擦への懸念や中国経済の先行きなど、海外経済の不確実性により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」、「ギャンブル等依存症対策基本法」、受動喫煙対策を強化する「改正健康増進法」への対応により、新規出店や大規模改装等への設備投資を控える傾向が強まっており、当業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、6月にリリースした新製品AIホールコンピュータ「X(カイ)」の提案を行い、既存ホールコンピュータ「CII」からのシステムアップに

よる入替を推進しました。

また、顔認証とセキュリティを融合させたFACEセキュリティ機能を搭載したCRユニット「VEGASIAⅢ」の拡販、及びパチスロ6号機のヒット機種に対応した専用のコンテンツを搭載したファン向け情報端末「BIGMO PREMIUMⅡ」の提案を引き続き行うとともに、周辺エリアの集客状況を表示する商圈分析サービス「Market-SIS」の普及に努めました。

制御システム事業におきましては、開発工程の効率化による品質向上と開発コスト削減の両立に引き続き取り組むとともに、専門技術を有する企業とのアライアンスに取り組むなど、新しい技術を活用した企画・製品提案をパチンコ遊技機全体に拡げる活動を推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高186億43百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益13億2百万円（同49.3%増）、経常利益14億21百万円（同41.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億12百万円（同43.1%増）となりました。

財政状態

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、たな卸資産及び開発回収金に伴う未収入金の減少や、固定資産の減価償却費の計上が大きかったことなどにより有形固定資産及び無形固定資産が減少しましたが、売上が好調に推移したことにより現金及び預金が増加しました。この結果、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加の438億88百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の負債は、経営成績が好調に推移

したことにより未払法人税等が増加しましたが、研究開発費及びソフトウェアに関する未払金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少の135億22百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の純資産は、配当金の支払額よりも親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が大きかったことにより利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ4億68百万円増加の303億66百万円となりました。自己資本比率は69.2%（前連結会計年度末比0.8ポイント上昇）となりました。

通期の業績予想

当第2四半期連結累計期間の業績は当初予想に比べて好調に推移いたしましたが、通期連結業績予想につきましては年初の予想数値を据置いております。

情報システム事業においては下期も引き続き堅調に推移することが見込まれますが、制御システム事業にて、旧規則パチスロ遊技機の認定切れに伴う、新規則パチスロ遊技機への置換えによる当社パチンコ遊技機向け表示ユニット販売への影響など、先行き不透明

な状況が続くことが予想されます。これらの状況を勘案した結果、2019年5月14日に発表の通期連結業績予想からの修正は行っておりません。

●通期予想及び第2四半期連結累計期間における業績進捗率 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
第2四半期連結累計期間	18,643	1,302	1,421	912
通期予想	34,000	1,200	1,250	800
進捗率(%)	54.8	108.5	113.7	114.0



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

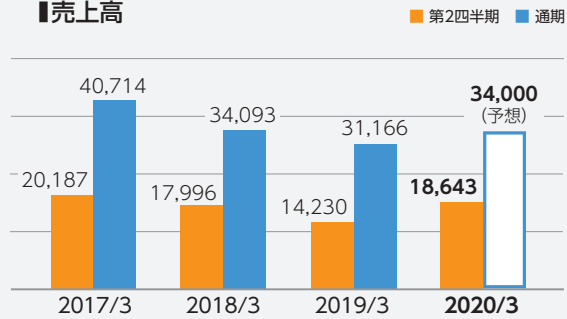
おかげさまで当第2四半期は、厳しい事業環境の中で、当初の予想を上回る業績を収めることができました。ここにその取り組み及び成果をご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

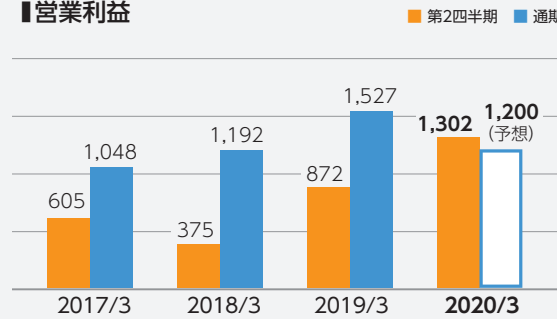
代表取締役社長 大上 誠一郎

業績ハイライト

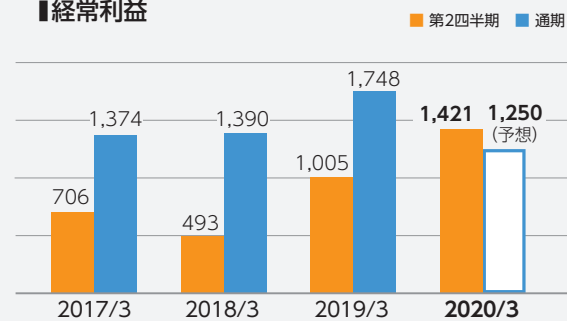
売上高



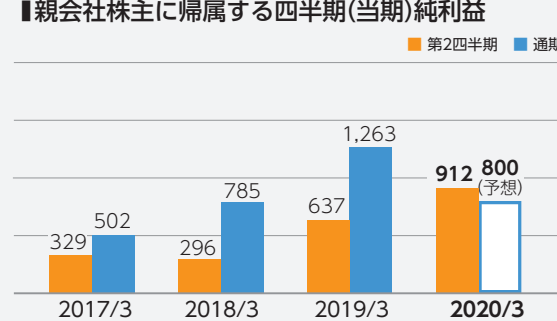
営業利益



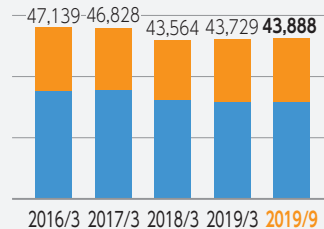
経常利益



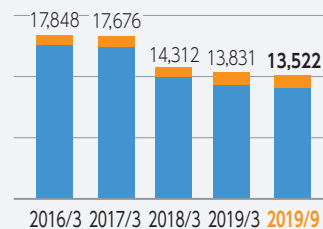
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



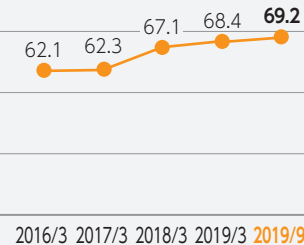
流動資産 固定資産



流動負債 固定負債



自己資本比率 (%)

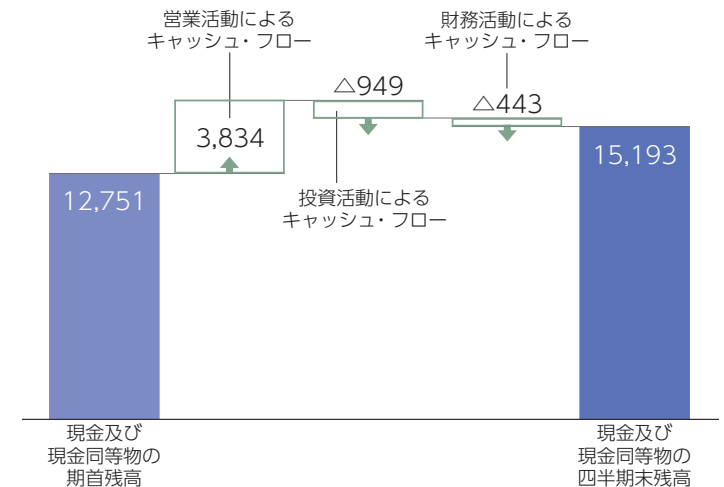


(単位：百万円、単位未満は切捨て)

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,834	△231	1,875
投資活動による キャッシュ・フロー	△949	△970	△2,364
財務活動による キャッシュ・フロー	△443	△443	△592
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,441	△1,644	△1,080
現金及び現金同等物の 期首残高	12,751	13,832	13,832
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	15,193	12,187	12,751

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



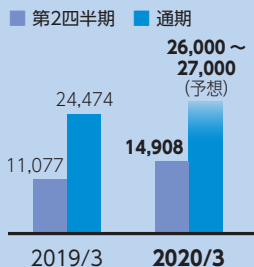
パチンコホールと遊技機メーカーの双方へ革新的な製品

情報システム事業

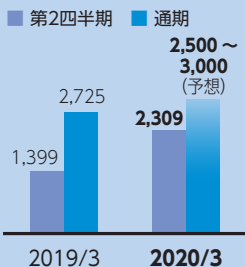
パチンコホール向けに、店舗運営に必要な管理機器「ホールコンピュータ」をはじめとする情報システム機器を提供するなど、企業経営・店舗運営を支援しています。



売上高



セグメント利益



当期の営業概況

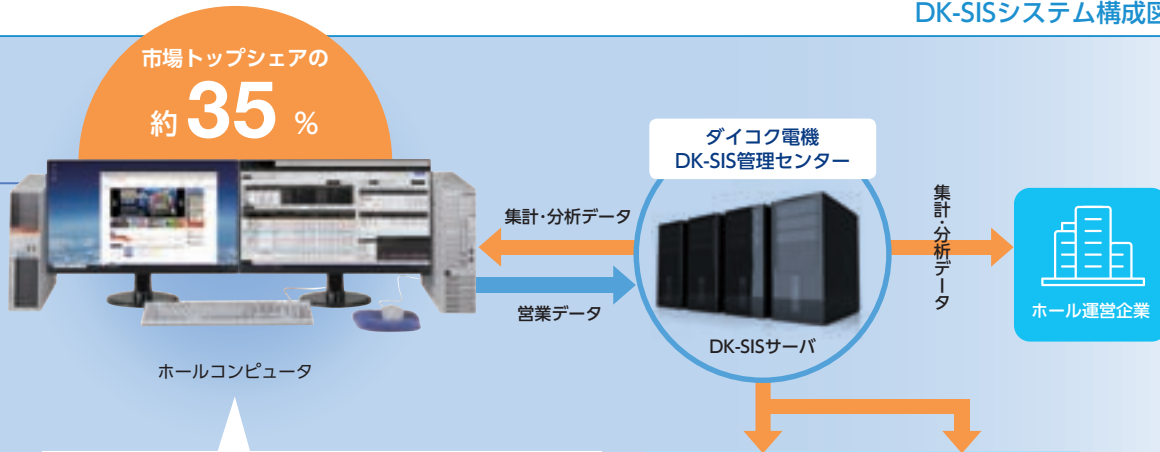
新規出店や大規模改装等が少なく、パチスロ主力機種の新規投入による撤去期限を年末に控え、設備投資への意欲が低下する厳しい市場環境が継続するなか、セキュリティ機能が引き続き評価されたCRユニット「VEGASIAⅢ」、及び大手企業への導入が継続しているファン向け情報端末「BIGMO PREMIUMⅡ」、「REVOLA」においては前年同期を大きく上回る実績となりました。

また、AIホールコンピュータ「X（カイ）」への入替も順調に推移しました。



を提供し続ける市場創造型の企業です。

DK-SISシステム構成図



ホールコンピュータ

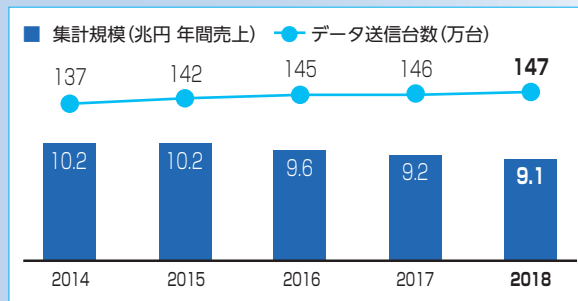
各遊技機の出玉情報や店舗全体の売上など各種営業データの管理を行うシステム。ネットワークを活用し、セキュリティ設定値のダウンロードや情報公開機器の設定を自動化し、ホール運営を強力にサポートします。



会員制情報提供サービス「DK-SIS」

「DK-SIS」は、1990年に店舗経営を支援する会員制システムとして誕生しました。パチンコホールの基幹システムであるホールコンピュータとダイコク電機とを専用回線で結び、日々の営業データを収集し、分析、加工後、パチンコホールに各種データを提供する顧客支援システムです。遊技機データ量は約147万台分、金額換算すると9.1兆円分のデータをベースに、遊技機動向や営業データなど付加価値の高い情報を提供。ホール経営支援から業界の発展にも貢献しています。

この大規模データを活用し、証券会社や金融機関など業界外にもパチンコ業界の指標を配信。リアルタイムで客観的な数値情報を公開することで、業界に対する信頼を構築しています。

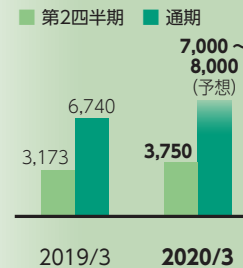


制御システム事業

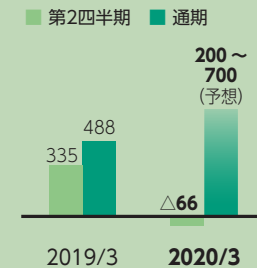
パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の表示や制御ユニットのハードウェア及びソフトウェアの開発からセールスプロモーションまで手がけています。



売上高



セグメント利益



当期の営業概況

大型タイトルで採用されたパチンコ遊技機向け制御ユニット及び部品販売は好調に推移しましたが、表示ユニットの販売が前年同期を下回る厳しい状況となったことで、利益が大幅に減少しました。



遊技機市場の変化に対応した企画開発



映像制作・プログラミング



品質管理
(デバッグ・検査)



表示用ユニット、制御用ユニットの提供

遊技機メーカー

NOW MIRAIGETE2019 Key for the MIRAI ～進化の解(こたえ)～

2019年5月22日の福岡会場を皮切りに東京、大阪、名古屋の全国4会場、延べ6日間にわたり、新製品発表会を実施し、2,800名を超えるお客さまに会場いただきました。

今年度は最重要製品と位置づけるホールコンピュータの最新モデルAIホールコンピュータ「X(カイ)」を中心に発表し、コンセプトをパチンコ業界の「働き方改革」としました。「分析作業の効率アップとマーケティング時間の短縮による効率化推進」や「複雑化するパチンコ業界と多様化する機種スペック調査時間の軽減」などを、AIホールコンピュータ「X」のビッグデータを基盤としたAI解析などにより実現する方法を軸に紹介しました。

また、新製品の他に参考出品を多く展示し、当社が業界の将来をどのように考え、製品・サービスの開発を行っているかをお伝えすることで、ホールのお客さまのダイコク電機への期待感を高めることができました。

今後もAIホールコンピュータ「X」をさらに進化させるとともに、引き続き業界の課題解決に応えられるような製品・サービスの開発に注力していきますので、どうぞ皆さまご期待ください。



NOW DK-SISセミナー ～業界に革命を引き起こせ！すべての解はビッグデータの中に～

現在パチンコ業界は、旧規則遊技機から新規則遊技機への移行期間の真只中です。移行期限まで残り約1年3ヶ月となるなか、依然として大量の旧規則遊技機が残っており、多くのホールの皆さまはその入替に頭を悩まされています。

今回のセミナーでは、多くの遊技機入替費用が想定される中で、旧規則機を減らしても業績を落とすわけにはいかないホールに向けて、ダイコク電機のビッグデータ活用により導き出した「解(こたえ)」をお伝えしました。

まずパチスロ遊技機に関しては、新規則機である6号機の好業績機種の見極めポイントを解説しました。より精度の高い機種分析を行うためには、ビッグデータを使って多角的な視点で、機種を選定すべきであるとお伝えしました。

パチンコ遊技機に関しては、新規則機の中でも設定付きパチンコに特化した分析を行い、最高6段階ある設定を最大限有効に活用する設定戦略の「解」を提示しました。また、ダイコク電機の情報公開端末を使って、ファンに遊技動機を提供することが設定付きパチンコないしはパチンコ全体の活性化に繋がるとお伝えしました。

新製品発表会と合同開催ということも相まって、今後のダイコク電機とDK-SISへの期待感は最高潮まで高まったと感じています。この期待に沿えるように、今後も有益な情報の提供に努めていきます。



NOW 「DK-SIS白書」2019年版 (2018年データ) 発刊

このたび当社は創刊から数えて16冊目となる「DK-SIS白書」2019年版(2018年データ)を発刊しました。本書は、市場シェアの3分の1を超える約147万台もの膨大なホールの営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したもので、売上規模・粗利規模等の各種指標はパチンコ業界の基準指標として、さまざまな場面で使われています。

例年掲載の内容に加え、「機種貢献上位機種一覧」や「今後の検定・認定切れ期日の一覧」など、今後の旧規則機から新規則機への移行に役立つコンテンツも掲載し、ホール関係者必読の一冊となっています。

DK-SIS並びに本書は、常に変化する市場に対応するための情報収集ツールとして、ホール経営企業の皆さまにご活用いただいています。なお、過去のバックナンバーを当社ホームページ (<https://www.daikoku.co.jp>) に掲載していますので、是非ご覧ください。



NOW 「名証IRエキスポ2019」に出展

2019年7月19日(金)・20日(土)の両日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)にて行われた名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2019」にブース出展しました。今回で連続16回目の出展となるこのイベントは今年も盛況で、2日間で8,500名と過去2番目に多い来場者があり、当社ブースでは約170名の方にアンケートにご協力いただきました。

当社ブースでは面談形式で、パチンコ業界の現状や会社業績、株主優待などの株主還元について説明しました。多くの株主や個人投資家の皆さま一人ひとりと貴重な対話の機会を持つことができ、大変有意義な出展となりました。

今後も当社への興味を持っていただけるよう継続的なIR活動を行い、当社の知名度・認知度の向上に努力していきますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。



会社及び株式の状況

(2019年9月30日現在)

会社概要

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創業 1965年 9月
設立 1973年 7月
資本金 6億7千4百万円
本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
従業員数 (単独) 437名 (連結) 642名
事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売
決算期 3月31日
事業所 3事業所、4支店、13営業所
連結子会社 元気株式会社、DAXEL株式会社、
ダイコク産業株式会社、アロフト株式会社

役員

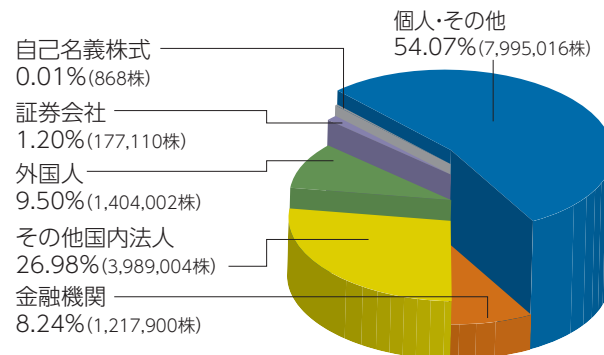
代表取締役会長	栢森 雅 勝
代表取締役社長	大 上 誠 一郎
代表取締役専務	栢 森 健
常務取締役	大 成 俊 文
取締役	栢 森 啓
取締役	藤 巻 靖 裕
取締役	松 原 真 那 武
取締役	岡 本 篤 憲
取締役	足 立 芳 寛
取締役	武 田 邦 彦
常勤監査役	吉 川 幸 治
監査役	村 橋 泰 志
監査役	田 島 和 憲
監査役	知 念 良 博

(注) 1. 取締役 足立芳寛氏、武田邦彦氏は社外取締役であります。
2. 監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏、知念良博氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株
発行済株式総数 14,783,900 株
株主数 12,842 名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
栢森 健	1,772,200	11.98
栢森 雅勝	1,014,650	6.86
栢森 美智子	926,000	6.26
栢森 寿恵	813,100	5.50
栢森 和代	773,000	5.22
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 秀行	591,400	4.00
栢森 新治	443,450	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	215,100	1.45
ダイコク電機従業員持株会	212,605	1.43

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 6月下旬
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告いたします。

一単元の株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

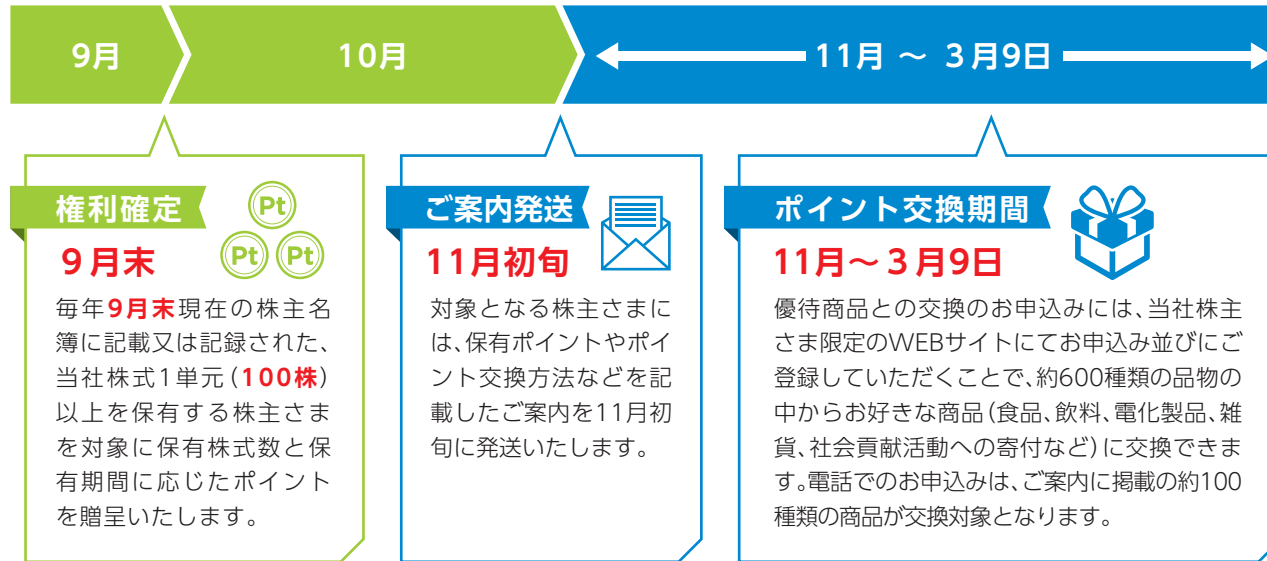
郵便物送付先 〒168-0063
電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない
事由によって電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

公告のホームページアドレス
<https://www.daikoku.co.jp>

株主優待制度のご案内

ポイント交換までの流れ



贈呈ポイントと繰越条件について

Check ① 保有株式数と贈呈ポイント

保有株式数	贈呈ポイント数	
	初年度	1年以上保有*
100～299株	3,000ポイント	3,300ポイント
300～499株	6,000ポイント	6,600ポイント
500～699株	12,000ポイント	13,200ポイント
700～999株	15,000ポイント	16,500ポイント
1,000株以上	20,000ポイント	22,000ポイント

*1年以上保有 (9月末日現在の株主名簿に同一の株主番号で連続2回以上記載されること)

Check ② ポイント繰越の条件

交換されなかったポイントは同一株主番号で、100株以上継続保有の場合は、手続き無しで繰越しできます。全株式を売却(100株未満の保有も含む)、もしくは名義変更や貸株等で株主番号が変更になった場合は、翌年9月末日の権利確定日において繰越されたすべてのポイントは失効いたします。

ポイント繰越有効期限と注意点について

ポイントの繰越条件、繰越有効期限にご注意ください。

2017年9月末対象の贈呈ポイントは、2020年3月9日の交換期限が過ぎると失効します！



期限
**2020年
3月9日**

! ご注意ください

ポイントの繰越有効期限は3年です。2015年より毎年9月末日の権利確定日ごとに保有期間1年とみなし、カウントいたします。2017年9月末対象の贈呈ポイントは有効期限をむかえます。2020年3月9日までに交換してくださいませようお願いします。**未使用のまま交換期限を過ぎたポイントは失効いたします。**

お問合せ先

ダイコク電機
株主優待
ヘルプデスク

0120-907-992

受付時間: 平日9:00～17:30 土・日・祝日・年末年始(12/28-1/5)除く